

報道機関各位

熊本大学

大学院社会文化科学研究科 第5回公共政策セミナーのお知らせ  
「災害と情報伝達ーデマ情報・情報格差・情報共有ー」

大規模な自然災害が発生した時、避難情報や炊き出し情報などを迅速・正確に伝達・共有していくことは、生き延びる上で極めて重要なこととなります。

しかし、熊本地震で私たちが経験したように、震災直後にはデマ情報が流れ、スマートフォンを持たない高齢者に情報が行き渡らない等の様々な問題が起きました。復旧の過程においても、支援情報の格差が生じ、県外避難者への情報伝達が課題となりました。

本セミナーでは、熊本地震よりもさらに混沌とした状況になった東日本大震災後の福島原発事故を紐解きながら、災害と情報伝達の諸問題について考えを深めていきたいと思えます。

つきましては、広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材方、宜しく願います。

記

- 【日 時】平成29年11月28日（火）12：50～14：20
- 【場 所】熊本大学 文・法学部棟1階 A2 教室（熊本市中央区黒髪2丁目40番1号）
- 【対 象】学生および一般の方（興味のある方はどなたでも）（定員：190名）
- 【参加費】無料
- 【申込方法】事前申込み不要
- 【お 願 い】できる限り公共交通機関を利用して、ご来場をお願いいたします。

※詳しくは別紙チラシまたはホームページをご覧ください。

<http://www.gsscs.kumamoto-u.ac.jp/>

【お問い合わせ先】

熊本大学大学院社会文化科学研究科  
社会人大学院教育支援センター  
TEL：096-342-2390

# 災害と情報伝達

## — デマ情報・情報格差・情報共有 —

大規模な自然災害が発生した時、避難情報や炊き出し情報などを迅速・正確に伝達・共有していくことは、生き延びる上で極めて重要なこととなる。しかし、熊本地震で私たちが経験したように、震災直後にはデマ情報が流れ、スマートフォンを持たない高齢者に情報が行き渡らないなど様々な問題が起きた。復旧の過程においても、支援情報の格差が生じたり、県外避難者への情報伝達が課題となったりした。本セミナーでは、熊本地震よりもさらに混沌とした状況になった東日本大震災後の福島原発事故を紐解きながら、災害と情報伝達の諸問題について考えを深めていきたい。

日時 2017年**11月28日(火)**  
12:50~14:20

場所 熊本大学 黒髪北キャンパス

文・法学部棟1階 **A2教室**



※ご来場の際は、できるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします

講師 **佐々木 康文** (福島大学行政政策学類 教授)

司会 **奥住 弘久** (熊本大学大学院人文社会科学部法学系 教授)

【お問い合わせ】

熊本大学大学院社会文化科学研究科  
社会人大学院教育支援センター

Tel/Fax:096-342-2390 E-mail:full1102@kumamoto-u.ac.jp

事前申込不要・参加費無料